

RYOBI

株主のみなさまへ
第104期 報告書
2015年4月1日から2016年3月31日まで



DIE
CASTINGS



POWER
TOOLS



BUILDERS'
HARDWARE



PRINTING
EQUIPMENT

ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。
シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。

ダイカスト製品



● 主なダイカスト製品

シリンダーブロック、
トランスミッションケース、
車体フレームなどの自動車・
二輪車用部品

パワーツール事業

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。



ディスクグラインダ
[G-111P/PH]

● 主な商品

ドリル、丸ノコ、グラインダ、
芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、
クリーナなど

建築用品事業

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。
ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。
リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。



ドアクローザ[GEOPRO GD-4PV]

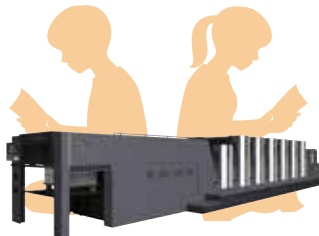
● 主な商品

- ・ドアクローザ
- ・ヒンジ
- ・建築金物等

印刷機器事業

カタログ、ポスター、パッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。
世界中のお客様に独創的で高品質な印刷機やサービスを提供しています。

菊全判オフセット印刷機
[RMGT 10]



● 主な商品

- ・オフセット印刷機
- ・印刷周辺機器等



技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第104期（2016年3月期）報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続することを基本にしております。当期（第104期）の期末配当金につきましては、2016年6月23日開催の定時株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり4円を、当期の業績が予想を上回ったことから1円増配して5円(中間配当金4円とあわせて年間9円)といたします。

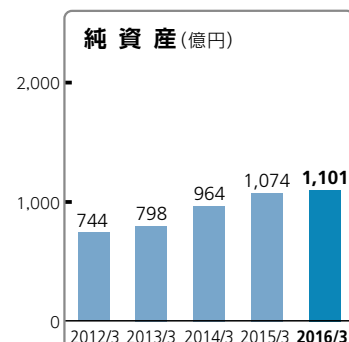
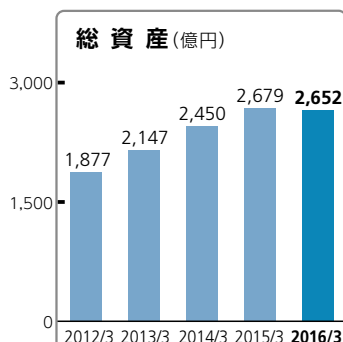
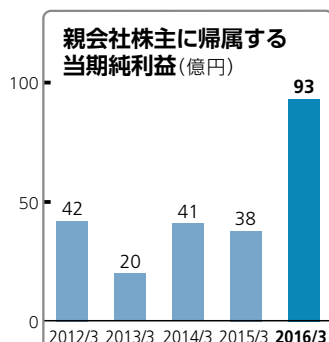
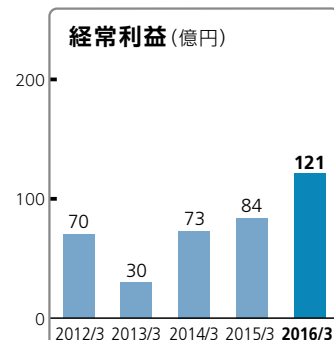
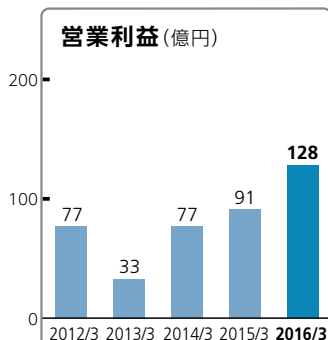
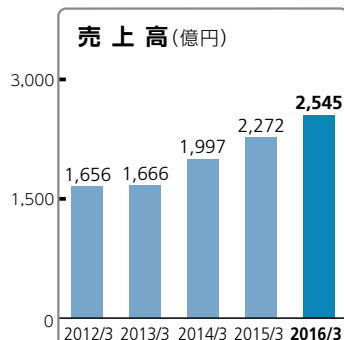
次期の配当につきましては、1株当たり年間配当金10円（中間配当金5円、期末配当金5円）を予定しております。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末長くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長

浦上彰



●業績推移

科目	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3(予想)
売上高 (百万円)	165,638	166,566	199,697	227,163	254,508	245,000
営業利益 (百万円)	7,715	3,307	7,665	9,122	12,832	11,800
経常利益 (百万円)	6,950	2,980	7,264	8,399	12,132	11,000
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,179	2,009	4,132	3,809	9,305	6,600
1株当たり当期純利益 (円)	25.84	12.42	25.53	23.53	57.49	40.78
総資産 (百万円)	187,694	214,725	244,976	267,854	265,197	—
純資産 (百万円)	74,350	79,767	96,433	107,403	110,107	—
1株当たり純資産 (円)	453.03	484.70	565.74	628.89	640.35	—

売上高・利益の状況

当連結会計年度(2016年3月期)のわが国経済は、上半期は、政府や日本銀行の経済・金融政策を背景に、設備投資や個人消費に回復の兆しがみられ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。海外経済については、米国は堅調に推移しましたが、中国をはじめとする新興国の成長の減速がみられました。一方、下半期については、国内では、日本銀行がマイナス金利付き量的・質的金融緩和政策を導入しましたが、個人消費や設備投資、住宅市場、自動車販売などに力強さがみられない状況が続きました。海外についても、中東情勢の不安定さや中国経済の減速などの影響が懸念される状況が続きました。

資産・負債等の状況

当連結会計年度末(2016年3月末)の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億57百万円減少し、2,651億97百万円となりました。減少は主に有形固定資産30億円、投資有価証券25億72百万円、退職給付に係る資産17億66百万円等によるものです。その一方で、増加は受取手形及び売掛金23億18百万円、現金及び預金22億25百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ53億62百万円減少し、1,550億89百万円となりました。減少は主に長・短借入金72億22百万円等によるものです。その一方で、増加は社債26億円等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進めるとともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。なお、2016年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国子会社において税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の回収可能性の見直しを行ったことにより、税金費用が減少したため、大幅に増加しました。

有利子負債残高は、818億81百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ27億4百万円増加し、1,101億7百万円となりました。増加は主に利益剰余金80億10百万円等によるものです。一方、減少は為替換算調整勘定23億74百万円、退職給付に係る調整累計額21億53百万円等がありました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ18億53百万円増加し、1,036億40百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し、39.1%となりました。

次期(2017年3月期)の見通し

今後のわが国経済は、個人消費、設備投資、住宅市場、自動車販売の回復に力強さがみられないことに加えて、金融政策や消費税、為替の動向等に左右されることが予想されます。これらのことから景気の先行きは不透明な状況にあります。海外については、米国や欧州は堅調さを維持するとみられますが、中国をはじめとする新興国経済の減速が強まっていることや中東情勢、世界金融市場の動向等、国内と同様に不透明感が拭えない状況にあります。

このような情勢のもと、現時点における次期(2017年3月期)の連結業績は、減収、減益となる見通しです。

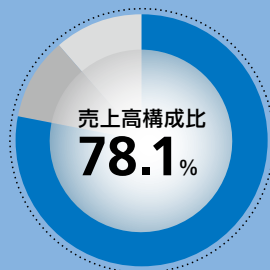
ダイカスト事業は、中国の製造子会社では受注増加を見込んでいます。一方、国内向けの売上高は若干減少する見込みで、また為替換算による海外子会社の売上高への影響もあることから、事業全体では減収の見込みです。利益については、国内で減収に伴う減

益を見込んでいることに加え、為替換算による海外子会社の利益への影響もあり減益の見込みです。

住建機器事業(パワーツール事業、建築用品事業)は、厳しい販売競争は続く予想されるものの、販売促進活動の強化や新商品の投入等で売上高は横ばいを見込んでいます。利益については、生産性向上や中国元安の影響等で売上高原価率は低下すると見込まれるため、増益を見込んでいます。

印刷機器事業は、国内は依然として厳しい市場環境が続いていますが、中型機や大型機の商品力を高めることで受注増加につながると見込んでいます。しかし、海外においては、欧米向けは増加を見込んでいますが、中国、アジア向けの輸出環境の悪化により輸出全体が減少する見込みです。よって、事業全体では減収となり、利益については減収に伴い減益になると見込んでいます。

ダイカスト事業



●当期の業績

売上高は1,988億9百万円(前連結会計年度比14.7%増加)、営業利益は105億34百万円(同57.9%増加)となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

国内の受注が堅調に推移したことに加えて、米国、メキシコ、英国、中国、タイの拠点でいずれも増収となりました。利益については、増収に伴う増益や生産性向上、経費削減の効果などにより増益となりました。

DIE CASTINGS

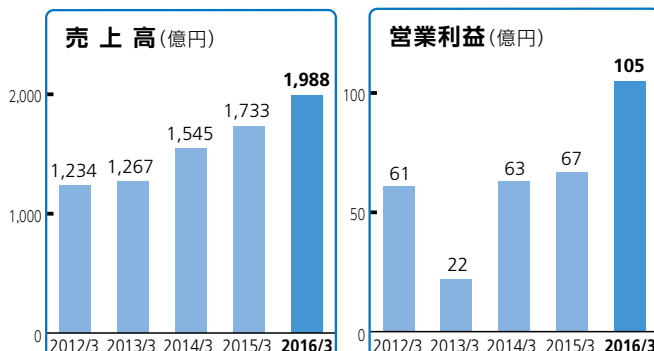
■事業展開の方向性

世界中の取引先のニーズに対応できる開発・供給体制のもと、卓越した技術開発力と製品提案力、スピーディーな対応力で、グローバルな自動車部品サプライヤーになることをめざしています。

日本、米国、メキシコ、英国、中国、タイに拠点を構え、世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウを活かして、グローバルに自動車メーカーなどとの関係を強化しています。そして、営業力の強化、価格競争力の強化、品質保証能力や生産性の向上などに取り組みながら、国内・海外での受注拡大を進めています。ダイカストの主な需要元である自動車市場は、国内は中長期的に縮小が予想されますが、海外は北米や中国等での拡大が期待されます。特に北米においては、投資収益性を見極めながら工場拡張や生産設備の

増設を検討していきます。

リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、軽量化かつ耐久性に富み、自動車の軽量化に貢献し、省エネルギー・省資源など環境保全にも有効な技術としても注目されています。当社グループは高品質な製品、付加価値の高い製品の開発に一層注力します。特に自



動車分野においては、軽量化ニーズに応えるための工法開発を進めるとともに、パワートレイン部品以外の自動車部品（車体部品等）のダイカスト化にも取り組んでいきます。

■ダイカスト製品の採用例

日産自動車株式会社様向けのエンジン用「ラダーフレーム」に当社のアルミダイカスト製品が採用され、2015年12月より納品を開始しています。

「ラダーフレーム」はエンジン本体の下部に位置し、高速で回転するクランクシャフトを支えるハシゴ状の構造部品で、高剛性と高品質が要求されます。



V型6気筒 3Lエンジン用「ラダーフレーム」(新型スカイラインへ搭載)

「EUROGUSS 2016」に出展

2016年1月12日から14日の3日間、「EUROGUSS 2016（国際ダイカスト専門見本市）」がドイツ・ニュルンベルクで開催され、当社も出展しました。

当社ブースでは、自動車向けシリンダーブロックやボディー・シャーシ部品を中心に展示し、当社の高い技術力をPRしました。欧州だけでなく、北米やアジアなどの自動車メーカーから多くの問い合わせを頂きました。



会場の様子



当社製品を集めた
自動車のオブジェ

住建機器 事業



パワーツール 事業

POWER TOOLS

建築用品 事業

BUILDERS' HARDWARE

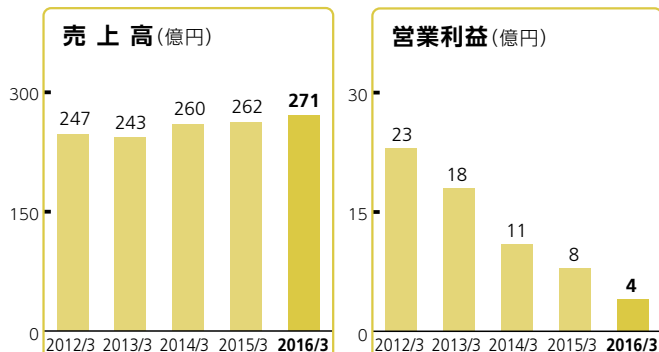
POWER TOOLS AND BUILDERS' HARDWARE

●当期の業績

売上高は270億76百万円(前連結会計年度比3.2%増加)、営業利益は4億30百万円(同47.0%減少)となり、前連結会計年度に比べて増収、減益となりました。

売上高は国内、海外ともに増加しましたが、売上高原価率の上昇で利益率が低下し、減益となりました。

(注) 住建機器事業はパワーツール事業と建築用品事業で構成されています。有価証券報告書の会計セグメントはパワーツール事業と建築用品事業を合算した住建機器事業の業績でご報告しており、当報告書もそれに準じた業績開示報告となります。



パワーツール 事業



POWER TOOLS

■事業展開の方向性

ユーザーのニーズをより一層収集し、具現化する商品開発力を軸に、「快適」にこだわった商品とサービスで「選ばれるブランド」になることをめざして、ユーザー接点の拡大、販売力、商品開発力、製造力の強化に取り組んでいます。軽量、コンパクト、使い心地のよさをコンセプトに、プロ用からDIY用まで幅広いユーザーのニーズに合う、快適で付加価値の高い商品とサービスの提供を進めています。

また、海外での販売力の強化や中国にある製造子会社の生産性、収益性、品質の向上などの取り組みを推進して、事業全体の収益力を高める体制づくりを進めていきます。

■ディスクグラインダ「G-111P/PH」

使いやすさにこだわった極細タイプのディスクグラインダ「G-111P/PH」は、ユーザーから高い評価をいただいています。

同クラスの中では最も細い52ミリのボディ径は握りやすく、鉄やステンレスの加工など、長時間の作業による手や腕の疲れを低減しました。モーター部への鉄粉の侵入を防ぐフィルターは、高い耐久性を実現しました。

さらに、ヘッド部の高さを低くしたことで、一般的なグラインダでは削ることができなかつた狭い場所でも作業できるようにになりました。



「G-111P/PH」

■高圧洗浄機「AJP-2050」

水の力で汚れを落とす高圧洗浄機の新モデル「AJP-2050」を発売しました。コンパクトながら機能性や耐久性に優れ、動作音も静かなモデルです。

電源コードやホース類は、全て本体から取り外しができます。取り外したホース類やノズルは付属の収納バッグにまとめて入れることができ、収納性にも優れています。



「AJP-2050」



建築用品 事業



BUILDERS' HARDWARE

■事業展開の方向性

国内ドアクローザ市場のマーケットリーダーとして、施工性や快適性向上を追求した商品開発と事業全体の収益性向上をめざしています。主力商品であるドアクローザの機能性や意匠性をさらに追求して、特長ある高品質な商品の開発に取り組んでいます。

また、中国にある製造子会社の生産性向上やコストダウンを推進し、国内のさらなるシェアの拡大と海外での拡販を進めると同時に、中長期的に最適な生産体制についても検討していきます。

■引戸クローザ「スライダーマン」

開き戸に比べて通行の妨げの少ない引戸は、病院などで多く使われています。リョービでは、軽い木製引戸用から重い大型スチール引戸用まで、様々な引戸クローザを揃えています。

中でも木製建具用引戸クローザ「スライダーマン」は、



「スライダーマン」

ドアを最後まで静かにしっかりと閉め、安心・安全な人の往来をサポートします。また、簡単な建付け調整機構の採用など、施工のしやすさも考慮した人に優しい商品です。

「カープ ドアマン」を発売

2015年8月に「カープ ドアマン」ドアクローザを広島県限定で発売しました。

当社は広島県に本社を構えているため、地元球団の広島東洋カープを応援する気持ちを込めてこのドアクローザを製作しました。2016年1月からは全国販売を行っています。

この「カープ ドアマン」のベースになっている「ドアマン」シリーズは、取り付けの簡単さとインテリア感覚あふれるデザインが多くのお客様に支持され、1981年の発売以来、累計約1,000万台の販売を誇るロングセラー商品となっています。

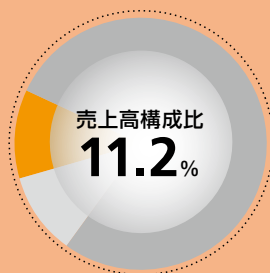


お問い合わせ先

リョービ株式会社 建築用品本部 企画管理部 企画課
電話：03-3927-5510

TOPICS

印刷機器事業



●当期の業績

売上高は283億83百万円(前連結会計年度比3.7%増加)、営業利益は18億48百万円(同13.7%増加)となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

国内は販売競争の厳しさなどから減少しました。海外は、中国経済の減速から中国向けは減少しましたが、北米や欧州での大型印刷機やLED-UV機などの高付加価値商品の販売増加などにより増加しました。利益については、増収に伴う増益や生産性向上などにより増加しました。

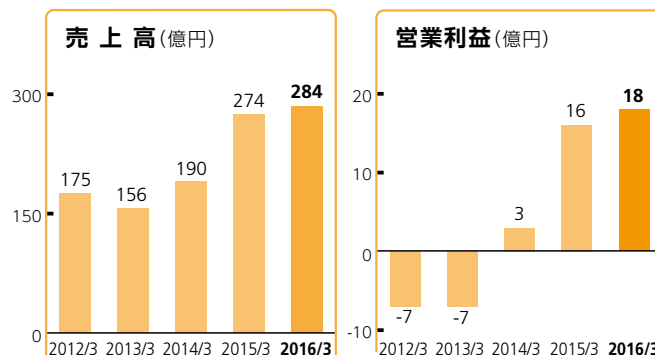
PRINTING EQUIPMENT

■事業展開の方向性

「ともに、世界へ彩りを。」をテーマに、独創的な技術をもとに、高品質な印刷機やサービスをグローバルに提供し、豊かな社会づくりに貢献することをめざしています。

小型から大型まで豊富なバリエーション（サイズ・機能・仕様等）を取り揃えるオフセット枚葉印刷機を中心に、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発・製造し、国内および海外で幅広く販売しています。また、当事業は、2014年1月に三菱重工印刷紙工機械株式会社とオフセット枚葉印刷機分野で事業統合しましたが、その後、商品開発や製造、営業、サービスの様々な面で統合効果が現れてきており、国内外で厳しい市場環境が続く中、安定した収益を確保できるようになりました。

今後は、商品開発からサービスまでの体制をさらに強化し、印刷業界との信頼関係を深めることに注力していきます。



■A全判オフセット印刷機「RMGT 9シリーズ」

A4サイズの8面付け印刷に対応し、高いコストパフォーマンスを発揮するのが、A全判オフセット印刷機「RMGT 9シリーズ」です。菊全判機 (B1サイズに相当) で培った紙搬送の基本性能を引き継ぐとともに、メンテナンス性を高めるソフトを搭載し、生産性向上と省力化を図った最新モデルです。

従来の最大用紙幅920mmの「RMGT 920」に加えて、国内で最も流通する菊全サイズ用紙を給紙できる最大用紙幅940mmの「RMGT 940」をラインアップに追加し、お客様の多様な用途にお応えしています。



「RMGT 940」

■四六全判オフセット印刷機「RMGT 1130LX」

国内で最大サイズの四六全判に対応する最大用紙幅1,130mmのオフセット印刷機「RMGT 11シリーズ」の新機種「RMGT 1130LX」を、2016年3月に広島東工場で開催した内覧会で発表しました。

「RMGT 1130LX」は厚さ0.04mmの薄紙から、厚さ1.0mmまでの厚紙に対応できる、薄厚兼用の印刷機です。用紙搬送部に独自のエア制御システムを採用し、幅広い紙厚に対して最適な用紙搬送が行えます。

内覧会では、厚紙パッケージ印刷の印刷実演を交えて同機の特長をご紹介し、高い評価をいただきました。



内覧会の様子



「RMGT 1130LX」

貸借対照表 (2016年3月31日現在)

科目	当期	前期
資産の部		
流動資産	126,616	123,522
現金及び預金	20,073	17,848
受取手形及び売掛金	55,056	52,738
有価証券	2,093	1,393
たな卸資産	43,571	45,464
繰延税金資産	1,474	1,201
その他	4,407	4,950
貸倒引当金	△ 60	△ 73
固定資産	138,539	144,332
有形固定資産	117,278	120,278
建物及び構築物	32,504	32,856
機械装置及び運搬具	53,154	54,738
土地	23,276	23,322
建設仮勘定	4,305	5,176
その他	4,037	4,184
無形固定資産	2,994	2,689
投資その他の資産	18,266	21,364
投資有価証券	12,386	14,958
繰延税金資産	5,328	4,079
その他	644	2,397
貸倒引当金	△ 93	△ 71
繰延資産	41	-
資産合計	265,197	267,854

単位:百万円

科目	当期	前期
負債の部		
流動負債	105,920	107,419
支払手形及び買掛金	38,788	40,994
短期借入金	35,467	37,802
1年内返済予定の長期借入金	10,612	10,622
未払法人税等	1,852	1,866
賞与引当金	1,999	1,637
役員賞与引当金	63	41
その他	17,136	14,454
固定負債	49,169	53,032
社債	2,600	-
長期借入金	33,201	38,077
繰延税金負債	1,007	2,258
再評価に係る繰延税金負債	507	534
退職給付に係る負債	8,847	8,466
その他	3,004	3,694
負債合計	155,089	160,451
純資産の部		
株主資本	95,442	87,425
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,765	23,757
利益剰余金	55,540	47,529
自己株式	△ 2,335	△ 2,334
その他の包括利益累計額	8,198	14,362
その他有価証券評価差額金	4,646	6,308
繰延ヘッジ損益	△ 10	△ 18
土地再評価差額金	737	719
為替換算調整勘定	4,709	7,084
退職給付に係る調整累計額	△ 1,885	267
非支配株主持分	6,466	5,615
純資産合計	110,107	107,403
負債純資産合計	265,197	267,854

損益計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

単位:百万円

科目	当期	前期
売上高	254,508	227,163
売上原価	216,056	194,142
売上総利益	38,451	33,021
販売費及び一般管理費	25,619	23,898
営業利益	12,832	9,122
営業外収益	2,369	1,847
営業外費用	3,069	2,571
支払利息	1,873	1,881
その他	1,195	689
経常利益	12,132	8,399
特別利益	57	16
固定資産処分益	57	8
その他	—	7
特別損失	167	105
固定資産処分損	158	105
減損損失	9	—
税金等調整前当期純利益	12,023	8,310
法人税等	1,819	3,931
非支配株主に帰属する当期純利益	898	568
親会社株主に帰属する当期純利益	9,305	3,809

キャッシュ・フロー計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

単位:百万円

科目	当期	前期
営業活動による キャッシュ・フロー	22,784	18,331
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 14,817	△ 15,019
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,456	△ 4,876
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 268	462
現金及び現金同等物の 増減額	3,240	△ 1,102
現金及び現金同等物の 期首残高	16,609	17,711
現金及び現金同等物の 期末残高	19,850	16,609

POINT 財務諸表 ワンポイント解説

●法人税等と税効果会計

税効果会計とは、損益計算書上に計上すべき法人税等について、税務上の手続きにより計算された「実際に納付すべき法人税等の額」から「会計上あるべき法人税等の額」への調整を行うための会計手続きのことです。今期は米国子会社の税効果会計の調整により、税金費用が大幅に減少しました。

株主資本等変動計算書 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

単位:百万円

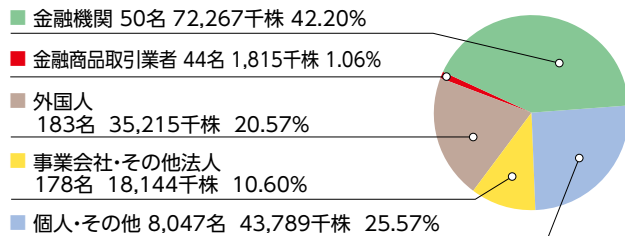
	株主資本					その他の包括利益累計額							非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	18,472	23,757	47,529	△ 2,334	87,425	6,308	△ 18	719	7,084	267	14,362	5,615	107,403	
当期中の変動額														
剰余金の配当			△ 1,294		△ 1,294								△ 1,294	
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,305		9,305								9,305	
自己株式の取得				△ 1	△ 1								△ 1	
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		8			8								8	
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 1,661	7	18	△ 2,374	△ 2,153	△ 6,163	851	△ 5,312	
当期中の変動額合計	—	8	8,010	△ 1	8,017	△ 1,661	7	18	△ 2,374	△ 2,153	△ 6,163	851	2,704	
当期末残高	18,472	23,765	55,540	△ 2,335	95,442	4,646	△ 10	737	4,709	△ 1,885	8,198	6,466	110,107	

株式の概要

● 発行可能株式総数	500,000千株
● 発行済株式の総数	171,230千株
● 株主数	8,502名

株式分布状況

<所有者別>合計8,502名／171,230千株



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,910	5.50
菱工会持株会	8,107	5.00
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本生命保険相互会社	6,240	3.85
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	6,091	3.76
公益財団法人浦上奨学会	5,680	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,835	2.98
三井住友信託銀行株式会社	3,503	2.16

(注) 当社は、自己株式9,381千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社の概要

社名 リョービ株式会社
 英文社名 RYOBI LIMITED
 創立年月日 1943年12月16日
 資本金 184億72百万円
 社員数 1,754名

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
 リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所
 生野株式会社
 RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
 RDCM, S. DE R.L. DE C.V.
 RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED
 利優比压铸(大連)有限公司
 利優比压铸(常州)有限公司
 RYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.
 利佑比(上海)商贸有限公司

●住建機器事業

リョービ販売株式会社
 利優比(大連)机器有限公司

●印刷機器事業

リョービMHIグラフィック
 テクノロジー株式会社

役員(2016年6月23日現在)

●取締役

代表取締役 浦上 彰
 取締役 横山 隆志
 取締役 鈴木 健二郎
 取締役(社外) 大岡 哲
 取締役 川口 裕幸
 取締役(社外) 山本 裕二
 取締役 鈴木 隆
 取締役 望月 達由

●監査役

常勤監査役 小林 照三
 監査役(社外) 荒井 洋一
 監査役(社外) 畑川 高志

●執行役員

社長 浦上 彰
 常務執行役員 横山 隆志
 執行役員 鈴木 健二郎
 執行役員 川口 裕幸
 執行役員 鈴木 隆
 執行役員 望月 達由
 執行役員 滝埜 義巳
 執行役員 栢野 隆史
 執行役員 坂本 禎造

「らしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 同連絡先
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行でお受けしますので、左記の連絡先にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
TEL (0847) 41-1111
東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
TEL (03) 3927-5541
<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。